

国際シンポジウム

日本栄養・食糧学会、韓国食品栄養科学会ジョイントシンポジウム
ISY [JSNFS & KFN Joint Symposium on Food Science and Health]

チャンネル：Ch1
7月3日(土) 9:00-11:00

オーガナイザー：Kiyotaka Nakagawa (Food and Biodynamic Chemistry Laboratory Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University)
Kiwon Lim (Dept of Physical Education, Konkuk University / Dept of Sports Medicine & Sciences, Graduate School of Konkuk University /
Physical Activity & Performance Institute, Konkuk University)

ISY-1 Possibility of germinated wheat as functional beverage

○Mi Jeong Kim
Changwon National University

ISY-2 Accurate analysis of plasmalogen species; Exploring involvement in Alzheimer's disease

○Yurika Otoki
Tohoku University

ISY-3 Functional foods for the metabolism of microorganisms in human gut

○Tae Jin Cho
Korea University

ISY-4 Water-soluble rice proteins suppress postprandial blood glucose elevation

○Yusuke Yamaguchi
Nihon University

シンポジウム・市民向け公開講座

SY1「味覚による摂食代謝調節」

チャンネル：Ch2
7月3日(土) 9:00-11:00

オーガナイザー：佐々木 努（京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻栄養化学分野）

SY1-1 味蕾における味覚受容の細胞分子メカニズム

○野村 憲吾¹⁾、樽野 陽幸^{1,2)}

1)京都府立医科大学 大学院医学研究科 細胞生理学、2)国立研究開発法人科学技術振興機構 さきがけ

SY1-2 空腹時に味覚を変化させる視床下部神経ネットワークの解明

○中島 健一郎

自然科学研究機構 生理学研究所 生殖・内分泌系発達機構研究部門

SY1-3 糖質過剰摂取のメカニズム

○八十島 安伸

大阪大学大学院 人間科学研究科

SY1-4 人工甘味料の継続摂取は頭相反応を攪乱し、耐糖能を悪化させる

○大槻 智也、松居 翔、小栗 靖生、都築 巧、佐々木 努

京都大学大学院 農学研究科

SY2 若手シンポジウム「生活習慣病の代謝バイオロジー」

チャンネル：Ch3
7月3日(土) 9:00-11:00

オーガナイザー：山内 祥生（東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻）

SY2-1 メバロン酸経路を介した骨格筋恒常性制御機構

○山内 祥生

東京大学大学院 農学生命科学研究科

SY2-2 コレステロールトランスポーターによる脂溶性物質の体内動態制御と病態生理学的意義

○山梨 義英、高田 龍平、鈴木 洋史

東京大学医学部附属病院 薬剤部

SY2-3 自然抗体エпитープである酸化タンパク質と代謝疾患

○近澤 未歩

名城大学農学部

SY2-4 脂肪滴の細胞質と核内での生理的機能

○大崎 雄樹¹⁾、今井 則博²⁾、程 晶磊¹⁾

1)名古屋大学大学院 医学系研究科、2)名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部

市民向け公開シンポジウム
SY3「コロナ禍において考えるべき栄養」

チャンネル：Ch4
7月3日（土）15:30-17:30

共同主催：日本学術会議（IUNS 分科会）

オーガナイザー：熊谷 日登美（日本大学生物資源科学部生命化学科、日本学術会議 IUNS 分科会）
稲垣 暢也（京都大学大学院医学研究科、日本学術会議 IUNS 分科会）
吉田 博（東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座）
三浦 豊（東京農工大学農学研究院応用生命化学部門）

SY3-1 新型コロナウイルスを制するための正しい知識 ～ワクチンと変異と食品と～

○水谷 哲也
東京農工大学 農学部附属感染症未来疫学研究センター

.....
SY3-2 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の治療における臨床栄養学的アプローチ

○鷺澤 尚宏
東邦大学医学部臨床支援室、東邦大学医療センター大森病院栄養治療センター、栄養部

.....
SY3-3 感染症予防に役立つ食事

○石田 裕美
女子栄養大学 栄養学部

.....
SY3-4 新型コロナウイルス感染症と栄養

○酒井 徹
徳島大学大学院医歯薬学研究部実践栄養学分野

SY4「アミノ酸分析の新展開－正確性とトレーサビリティを
確保された認証標準物質の開発とその重要性－」

チャンネル：Ch1
7月3日（土）15:30-17:30

共催：日本アミノ酸学会

オーガナイザー：堂前 直（理化学研究所環境資源科学研究センター技術基盤部門）
宮野 博（味の素株式会社）

SY4-1 SI トレーサブルなアミノ酸標準物質の開発

○加藤 愛
産業技術総合研究所 計量標準総合センター

.....
SY4-2 SI トレーサブルなアミノ酸混合標準液の開発

○井原 俊英
産業技術総合研究所 計量標準総合センター

.....
SY4-3 血漿遊離アミノ酸濃度測定法の標準化と健常人の基準範囲

○中山 聡
味の素株式会社 バイオ・ファイン研究所 評価・分析室

SY5「食の課題に対する栄養プロファイリングによる新規アプローチ」

チャンネル：Ch1
7月4日（日）9:00-11:00

オーガナイザー：加藤 久典（東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻）

SY5-1 日本における栄養プロファイリング評価の重要性

○加藤 久典
東京大学大学院 農学生命科学研究科

SY5-2 栄養情報の提示と行動変容の課題と可能性

○赤松 利恵
お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系

SY5-3 日本の栄養摂取課題と栄養プロファイリングモデルによる評価

○村上 健太郎
東京大学大学院 医学系研究科

SY5-4 Advances and global trends in nutrition profiling

○Adam Drewnowski
University of Washington

SY6「分子基盤から見てくる食機能」

チャンネル：Ch2
7月4日（日）9:00-11:00

オーガナイザー：片倉 喜範（九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門システム生物工学講座細胞制御工学分野）
磯田 博子（筑波大学生命環境系 / 地中海・北アフリカ研究センター）

SY6-1 機能性成分の腸管吸収の実際を視る

○田中 充
九州大学 五感応用デバイス研究開発センター

SY6-2 食品成分による育毛制御の分子基盤

○片倉 喜範
九州大学大学院 農学研究院生命機能科学部門

SY6-3 上皮タイトジャンクションからみた食成分の分子機能

○南雲 陽子^{1,2,3)}、向山 海風⁴⁾、臼井 健郎^{1,5)}
1)筑波大学 生命環境系、2)筑波大学 地中海・北アフリカ研究センター、
3)筑波大学 テーラーメイドQOLプログラム開発研究センター、
4)筑波大学 生命地球科学研究群 生命農学学位プログラム、
5)筑波大学 微生物サステナビリティ研究センター

SY6-4 幹細胞の運命を導く食薬機能成分

○磯田 博子
筑波大学生命環境系/地中海・北アフリカ研究センター

オーガナイザー：豊島 由香（お茶の水女子大学ヒューマンライフィノベーション開発研究機構）

SY7-1 過栄養がもたらす細胞死と炎症，線維化○田中 都¹⁾、小川 佳宏²⁾、菅波 孝祥¹⁾

1)名古屋大学 環境医学研究所 分子代謝医学分野、2)九州大学大学院 医学研究院 病態制御内科学

SY7-2 マイオカインの最前線

○眞鍋 康子、三田 佳貴、古市 泰郎、藤井 宣晴

東京都立大学 大学院 人間健康科学研究科

SY7-3 神経疾患と栄養エネルギー代謝障害

○田口 明子

国立長寿医療研究センター研究所統合神経科学研究部

SY7-4 タンパク質栄養状態を反映した血中アミノ酸プロファイルが組織特異的な脂質代謝を制御する

○伯野 史彦

東京大学 大学院農学生命科学研究科 応用動物科学専攻

SY8 市民向け公開シンポジウム**「東京栄養サミット 2021 に向けての動き・取り組み」**チャンネル：Ch4
7月4日（日）15:00-17:00

共催：日本栄養学学術連合

オーガナイザー：武見 ゆかり（女子栄養大学栄養学部）
仲川 清隆（東北大学大学院農学研究科）**SY8-1 栄養政策推進の観点からみた東京栄養サミット 2021 の意義**

○鷲見 学

厚生労働省健康局健康課

SY8-2 東京栄養サミットに向けた栄養学学術連合の取り組み○仲川 清隆¹⁾、瀧本 秀美²⁾

1)東北大学大学院、2)国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

SY8-3 民間企業におけるコミットメント作成への取り組み

○金森 知美

栄養改善事業推進プラットフォーム(NJPPP)事務局

SY8-4 持続的な栄養改善に向けて：ケニアからの現場報告

○長坂 優子

特定非営利活動法人日本リザルツ ケニア駐在員

オーガナイザー：佐藤 匡央（九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門食料化学工学講座栄養化学分野）

SY9-1 外因性高コレステロール血症ラットの三大栄養素代謝○田中 愛健
九州大学大学院農学研究院**SY9-2 ステロール類縁物質である大豆イソフラボンの生理作用—食欲抑制効果を中心に—**○岸田 太郎¹⁾、藤谷 美菜¹⁾、水重 貴文²⁾
1)愛媛大学大学院農学研究科、2)宇都宮大学農学部**SY9-3 ラットにおける 12 α 水酸化胆汁酸による肝脂質蓄積と関連症状**○石塚 敏
北海道大学大学院 農学研究院**SY9-4 コレステロール代謝制御ペプチド**○長岡 利
岐阜大学応用生物科学部**SY10「「栄養と肌」研究の最前線」**チャンネル：Ch3
7月4日（日）15:00-17:00

オーガナイザー：大石 祐一（東京農業大学応用生物科学部食品安全健康学科）

SY10-1 タンパク質栄養が創傷治癒に及ぼす影響とその分子メカニズム○山根 拓実
東京農業大学応用生物科学部**SY10-2 皮膚疾患と亜鉛欠乏について ～難治性皮膚炎・褥瘡の病態への関与～**○茂木 精一郎
群馬大学大学院 医学系研究科 皮膚科学**SY10-3 栄養と皮膚マイクロバイオーーム**○大貝 和裕
金沢大学医薬保健研究域**SY10-4 皮膚と脂肪組織、肝臓との相互作用**○大石 祐一
東京農業大学応用生物科学部